アリーナ内観（通常利用時）

県産材の内装による武道場

市民の交流拠点となるコミュニティホール

日向市総合体育館建設工事
起　工　式

日　時　令和７年２月20日(木)　午前11時～
会　場　大王谷コミュニティセンター（大会議室）

【　式 次 第　】

１　開　　式
２　主催者あいさつ
３　来賓あいさつ
４　来賓紹介
５　事業概要説明
６　鍬入式
７　閉　　式

■ 日向市総合体育館整備事業の概要

1　事業の目的

　現在の市体育センター及び武道館は、建設から約50年が経過し、老朽化に加え、耐震性にも課題があることから、利用者の安全性の確保が急務となっている。さらに、多発する自然災害に備えた中長期的な生活ができる施設としての整備や多様化する市民ニーズに応える設備の充実も求められている。

　このような状況を踏まえて、スポーツをする機会が少ないと思われる子育て世代やスポーツをされない方なども、魅力的で気軽に利用できる体育館を目指し、市民の誰もが安心して楽しく利用できる憩いの場としての活用を図っていくもの。

2　事業の場所

　日向市大字日知屋12106番地外（大王谷運動公園内）

3　総事業費

　4,200,000千円

4　事業の内容

（１）構造・階数　　鉄筋コンクリート造一部鉄骨造２階建て
（２）延床面積　　約 6,500㎡
（３）必要諸室
①競技機能　　アリーナ、武道場、倉庫（器具庫含む）
②観覧機能　　観客席（２階：固定席500席程度）
③管理・サービス機能
　更衣室、シャワー室、トイレ、会議室（控室）、エントランスホール、ロビー、事務室、放送室、救護室
④健康増進、交流機能
　多目的室（軽スポーツ、ダンス等）、ウォーキング・ランニングコース、トレーニング室、交流室（キッズルーム）、授乳室
⑤災害時の拠点機能　　備蓄倉庫
⑥機械室等　　機械室等
⑦その他　　廊下・通路等

■ 事業スケジュール

平成28(2016)年度	第２次日向市総合計画【重点戦略：体育館の整備推進】　策定
平成30(2018)年度	日向市スポーツ施設整備基本構想　策定
令和元(2019)年度	日向市総合体育館整備基本構想　策定
令和２(2020)年度	日向市総合体育館整備ＰＦＩ等導入可能性調査報告書　策定
令和４(2022)年度	日向市総合体育館整備基本計画　策定
令和５(2023)年度	都市構造再編集中支援事業の活用、基本設計業務
令和６(2024)年度	実施設計業務
令和７(2025)年度	建設工事
令和８(2026)年度	建設工事、完成（供用開始）

■ 建設事業者

受注事業者　　五洋・あさひ産業・三郎建設・環境デザイン・アーク計画設計
　　特定建設工事共同企業体

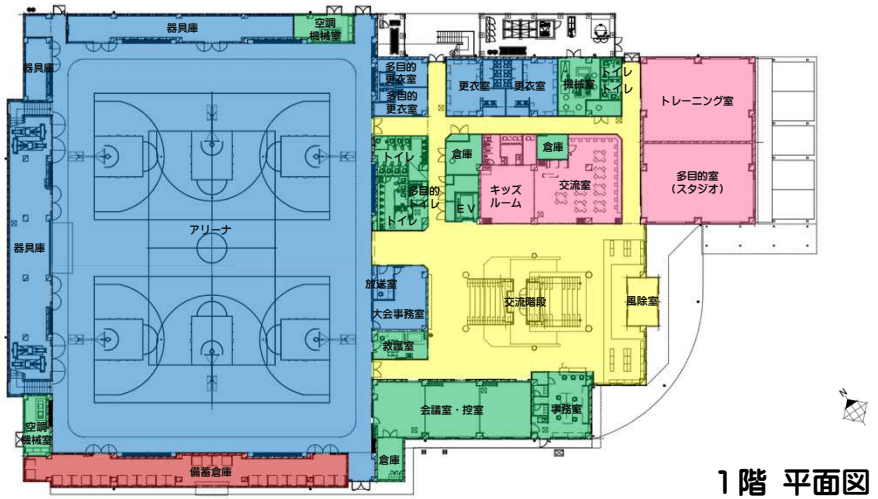
代　表　者　　福岡県福岡市博多区博多駅東２丁目７番27号
　　五洋建設　株式会社　九州支店
　　常務執行役員支店長　小倉　征巳

★ 総合体育館の基本コンセプト（キャッチフレーズ）

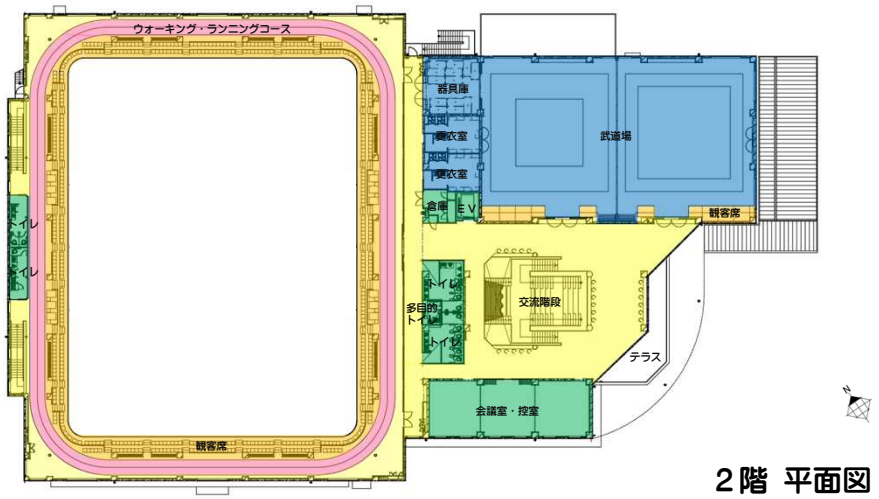
～　未来へ向かい　あふれる笑顔で多世代がつながる
　　と緑に囲まれた“健康長寿・スポーツ推進”拠点　～

★ 基本コンセプト　（３つの大きな柱）

☆ 市民の誰もが日常的にスポーツ活動、健康づくりに親しみ、利用できる体育館
☆ 様々なスポーツ大会が開催され、スポーツ交流やイベントの拠点となる体育館
☆ 災害時の拠点施設となる体育館



１階　平面図



２階　平面図